

職務に専念する義務の特例に関する条例

平成27年 2月20日条例第24号

(目的)

第1条 この条例は、地方公務員法（昭和25年法律第261号）第35条の規定に基づき、職務に専念する義務の特例に関し、法律又は他の条例に特別の定めがある場合以外の場合について規定することを目的とする。

(職務に専念する義務の免除)

第2条 職員は、次の各号の1に該当する場合においては、あらかじめ任命権者又は、その委任を受けた者の承認を得て、その職務に専念する義務を免除されることができる。

- (1) 研修を受ける場合
- (2) 厚生に関する事項についての計画の実施に参加する場合
- (3) 前2号に規定する場合を除くほか、組合規則の定める場合

2 前項の規定は、地震、火災、水害その他重大な災害に際し、任命権者が職員を本職以外の業務に従事させることを妨げない。

附 則

この条例は、平成27年4月1日から施行する。